

國學院大學學術情報リポジトリ

出張報告「研究事業「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の展開と国学史像の再構築」による史料調査」

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-07-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000579

出張報告

「研究事業『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の展開と国学史像の再構築」による史料調査

2019年度の日本文化研究所の研究事業「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の展開と国学史像の再構築」の一環として、2020年2月4日から翌5日にかけて、岐阜県各務原市の内藤記念くすり博物館にて資料調査を行った。同館は薬と医療を専門とする博物館だが、中野康章の旧蔵書を収めた「大同薬室文庫」を所蔵する。中野が皇朝古医道を修めた神職・医師であったために、同文庫には賀茂真淵や本居宣長、平田篤胤の書簡など、神道・国学に関する貴重な資料が多数収蔵されている。しかし同文庫に関する調査は過去の日本文化研究所の事業でも行っていない。今回の調査により近世・近代の国学者の学問営為や人的ネットワークに関して多くの発見が得られると予想される。

そのような調査成果は、国学に関する学説史・研究史の再検討と新たな国学史像の構築を目標とし、また「国学・神道関係人物研究情報データベース」を作成している上記研究事業にとって資するものと予想し、今回の調査を企画した。これまであまり調査が行われていない同文庫の資料状況を把握することで、今後の調査につなげることも今回の目的であった。

なお、同文庫の目録としては、古典籍を中心とする『大同薬室文庫蔵書目録』（内藤記念くすり博物館、2001年）と、書簡等の史料を中心とする『大同薬室文庫資料目録』（内藤記念くすり博物館、2005年）という二種類の目録が刊行されている。

今回の調査は齋藤公太（研究開発推進機構日本文化研究所助教）、小田真裕（同共同研

究員）、鈴木健多郎（同臨時雇員）の計3名により行われた。

調査を行った主要な資料の概要は以下の通りである。

・「幽顕問答鈔」（47316）

筑前の平田派国学者・宮崎大門が憑霊との対話を記した『幽顕問答鈔』（天保10・11年成立）の写本。同書の諸本分析の対象となる資料。

・「仙境異聞略記」（46291）、「仙境異聞附録」（46292）

平田篤胤の著作『仙境異聞』（文政5年刊）の写本。本莊宗武の旧蔵書か。「付録」の識語からは吉岡徳明の所蔵本を風祭保嘉が書写したものであることがわかる。寅吉の言葉を明治期の状況に即して再解釈した徳明の注釈が本文中に組み込まれている。

・「仙童寅吉物語 一～二之巻」（47855）

吉岡徳明旧蔵の『仙境異聞』、もしくはその写本か。風祭保嘉が吉岡旧蔵書をふまえて考証しているようにも読める。明治初年における、「仙境異聞」の写本形成過程（伝播）をうかがわせる資料といえる。

・「皇国之大道 地」（49021）

神拝・祭祀の次第について記した著作。挿絵が多く、近代に成立したものか。

・橘家神道関係

大同薬室文庫には橘家神道関係資料が多数

所蔵されている。特に「橘家柏手之伝」(48766)、「橘家清祓式」(48768)、「橘家祈祷加持伝」(48769)、「橘家五行祭式」(48771)、「橘家山材祭式」(48772)、「橘家宇賀祭式・船魂祭式」(48773)といった資料は、「御霊大宮社」に仕えていたという玉木正誠が書写・旧蔵したものであることが判明した。正誠はその名からして玉木正英の類縁と推測されるが、詳細不明。「柏手之伝」や「山材祭式」は内容的にも珍しく、橘家神道の展開を知る上で貴重な資料である。

・堀秀成関係

大同薬室文庫には他に所蔵がない、もしくはほとんど見られない堀秀成の著作の写本が収められている。「仮字比例」(40311)、「あして」(44256)、「歌のすがたの論」(44268)などである。秀成の門人・水野秋彦が書写したものか。いずれも秀成の歌論・国語研究の内実を知る上で有意義な資料である。

・「皇国伝」(47076)

皇国の成り立ちと井上正鐵の教えとの関係を説いた著作。正鐵の著作の写本か。禊教の源流である正鐵と国学との関係をうかがわせる資料。

・「石川依平歌集」(49177)

本居春庭、栗田土満の門人だった石川依平の歌集の写本。依平の歌72首を収める。

・「唯一宗源神道神儒仏三国異弁」(48343)

神道・儒教・仏教の差異について論じる内容。近世の神道講談の台本か。

・「北畠親房公」(47527)

北畠親房に関する資料の抜き書きをまとめたもの。「北野神社」と印字された原稿を使用。明治期の成立か。久米幹文や小杉楹邨の文章の他、親房を題とする歌会の記録も収録。千

家尊孫、八田知紀、佐々木弘綱、佐々木信綱ら、著名な国学者・歌人の名が見られる。明治期の国学と北畠親房像の受容との関係をうかがい知ることのできる資料である。

今回の調査では適宜ノートを取りつつ以上の資料の内容を調査した。これらの調査成果は、今後国学に関する学説史・研究史の再検討と新たな国学史像の構築を行い、また「国学・神道関係人物研究情報データベース」の内容を拡充していく上で有益な情報となるものである。

(武田幸也)